



コミセンレポ —コミセン、和白5校区などの注目情報です—

毎週木曜日、体育館にて「ストレッチ」教室開催中！

新たな教室、本年度も継続します！

コミセンわじろ3F体育館では、毎週木曜日午後3時15分から「ストレッチ」教室が行われています(約90分間)。ストレッチをメインに、毎月さまざまなテーマを設けています。ちなみに6月は『痛みを解消する』がテーマになっています。

現在教室に参加されている方々の年齢層は、40代から70代まで。他の教室とは異なり時間も長く、体育館という広々とした空間で行われていますので、身体を

大きく気持ち良く動かすことができます。またゆったりとした気持ちで身体を伸ばし、ゆるめていくことができます。充実したストレッチは身体をすっきりさせ、頭をリフレッシュさせます。

また自分のペースで参加したり、目標を決めることができます。最近運動していないなあという方、教室に興味を持たれた方は、まずは木曜日の15時、コミセンまでお越し下さい。初心者の方も安心して下さい。指導員がやさしく指導させていただきます。

※ 参加をご希望の方、詳細を知りたい方は、3Fスタッフまでお問い合わせください。



▲体育館での教室開催風景



▲ひろびろ空間でのびのびできます



コミセン活用術 —私たちの施設を使って、もっと身近に—

地域の文化発表の場、市民ギャラリーを活用ください

「観る」からつながる地域活動

地域のみなさんの作品発表の場「市民ギャラリー」が、コミセンにあるのをご存知ですか？利用は無料！場所は2Fロビースペースの壁面(一部)。最大で3週間まで作品展示が可能です。作品を観るだけでも楽しいですが、利用者と団体との交流を生む場でもあります。作品を観賞した方々から「私もつくりたい」「創作に参加したい」などの問い合わせをいただき、団体を紹介したケースもあります。また展示する団体

の方からも「発表は創作の励みになります」との声を頂いています。油絵や水彩画、墨絵、習字、切り絵、川柳の色紙、刺繍、地域の方々が制作した絵手紙、写真作品など。日頃の成果を発表して、地域で活動の輪を広げませんか？利用、展示をご希望の方はスタッフまでお問い合わせください。

今回の活用ポイント

- ◎ 日頃の成果を、地域で発表できます。
- ◎ メンバー加入など活動の輪が広がります。
- ◎ 無料、最大で3週間展示できます。

※ 事前に展示内容に関しての審査があります。また利用には利用規約があります。



〒811-0213 福岡県福岡市東区和白丘1丁目22-27

☎092-608-8480 FAX: 092-608-8485

【開館時間】午前9時から午後9時まで(多目的ホールは午後10時まで)

【休館日】毎月最終月曜日(祝日のときは翌日)、及び年末年始(12/28～1/3)

より詳しい情報は、コミセンわじろ公式ホームページをご覧ください。

公式HP <http://wajiro.info>

facebookでも、コミセンわじろの日常を発信中！

facebook www.facebook.com/komisenwajiro



福岡市和白地域の魅力、活動サークルの紹介など
みなさんの活動に役立つ情報を発信します

地域とあなたが、もっとつながる

わじろ [ワジロ] vol. 13 2016 Summer

pick
up

わじろじまん 戦中と戦後の記憶「雁ノ巣飛行場」

わじろ元気印 癒しの音色 ヴィバーチェオカリナ





地域文化

わじろじまん

— 地域にある、次に伝えたい「誇り」をご紹介 —

戦中と戦後の記憶「雁ノ巣飛行場」

かつて存在した、日本一の民間国際空港

昭和10年から終戦直後まで、「福岡第一飛行場」、通称「雁ノ巣飛行場」と呼ばれる空港が、当時の福岡県糟屋郡和白村雁ノ巣（現在の雁ノ巣レクリエーションセンター付近）にありました。今回のわじろじまんは、かつて存在したこの空港と、戦後は米軍基地となった雁ノ巣のまちのエピソードを地域で取材しました。

戦前の雁ノ巣空港は800mの滑走路を誇り、大陸や東南アジアへの路線もあった、当時日本最大の規模を誇る民間国際空港でした。（※表紙写真は当時のもの。提供：奈多公民館）太平洋戦争時は陸海軍共用の飛行場になるなど、国防のための要所でした。終戦後は米軍に接収され「ブレディ飛行場」の名前で、昭和40年代に返還されるまで基地の一部となります。

現在では飛行場の痕跡は、当時の空港ゲート場所付近にある記念碑が知られていますが、他に残っている空港の痕跡を拝見しました。和白の海側にある、水上艇が発着できるスロープです。当時有った滑走路や格納庫は道路が整備される時に取り壊されましたが、このスロープだけは現在も残っています。「2005年の西方沖地震の際に結構壊れたんだけど、貴重なもんだからと言ったら行政が修復してくれたんだよね（河北さん）。」

くらしのすぐ側に、アメリカがあった

戦後のまちの様子はどうだったのか。当時を良く知る河北モータース代表の河北紘之さんに、お話を聞きました。「雁ノ巣は東洋一の飛行場だったんです。私の家族は戦後すぐにここに来たんですが、当時の雁ノ巣は、蒲鉾（かまぼこ）兵舎と



この人に聞きました！

河北 紘之さん

河北モータース 代表

呼ばれる建物がたくさん並んでいて、近くにある居住区には米軍の方々もたくさん生活していました。」

当時の雁ノ巣は、沖縄にも匹敵する米軍のまちでした。兵隊さんを迎えるさまざまなお店が並ぶ賑やかさだったそうです。またハムやソーセージ、巨大な冷蔵庫、大きな自家用車、珍しかった水洗トイレなど最新のアメリカの文化がまちに入ってきた。その豊かさが人を集めたんだと、河北さんは語ります。「戦後、仕事を求めて人々がここに入ってきた。私の親父も戦前に潜水艦で得た技術を、米軍関連の自動車の整備に使うためにここに来た。そんな人たちが集まったせいか、雁ノ巣は今もフロンティア精神がある。『やってみよう』という気持ちを持った方々がまちを支えている。それはずっと

と住んできた人間の誇りだね。」

当時、マリリン・モンローが新婚旅行で基地を訪れた際に、道がアスファルト舗装になったんだと笑顔で話す河北さん。日本一と呼ばれた空港、そして戦後の基地の痕跡は写真の中にしかありませんが、地域で暮らす人々の記憶の中にはしっかりと残っていました。

▼エリアマップ（雁ノ巣駅から徒歩約15分）



① 現在も残る水上機用のスロープ跡。水陸兼用の飛行場が雁ノ巣にあった痕跡を残す、貴重な場所。

② 福岡飛行場建設事務所の銘がある記念碑。裏に「水陸兼用ノ国際飛行場ヲ建設ス」と記されている。

③ マリリン・モンローが雁ノ巣を訪れた際の写真。背景に本文登場の「蒲鉾（かまぼこ）兵舎」が写っている。



地域団体

わじろ元気印

— この地域で「力いっぱい」活動する団体の情報 —

癒しの音色 ヴィバーチェオカリナ

素朴かつ美しい、音楽の魅力

今回紹介するのは、福岡市で活動している「ヴィバーチェオカリナ」さんです。優しい音色に特徴がある楽器、オカリナの演奏を通じたさまざまな活動をしています。同団体の代表、松永里香さんにお話をうかがいました。

—活動をはじめたきっかけは？

オカリナ魅力を伝えたい、音色を好きになってくれた方に素敵な演奏を届けたくて活動を始めたことがきっかけです。2011年頃から地域に出向き、老人ホームや施設などでオカリナ演奏の慰問活動を始めました。現在では小学校4年生から80歳前後ぐらいまで、約30名のメンバーで活動しています。

—活動内容を教えてください。

団体名の“ヴィバーチェ”とはイタリア語で「生き生きとした」「活発な」「生命力あふれる」という意味です。オカリナの演奏を通して、メンバーと共に生き生きワクワクとした活動ができればいいなと思っています。みなさんも初心者から長い方は5年ぐらいまでと、オカリナの演奏を始められた時期がさまざまなので、その方その方のレベルに合わせて練習し



ています。こういう曲がやりたいというリクエストもお聞きしながら、課題曲を目標にみなさんコツコツ練習に励んでいます。家での練習もちろん大切ですが、仲間が集まって一緒に楽しく練習するのが上手くなるコツです。また、プロのオカリナコンサートへみなさんと出かけるのも楽しみの1つです。

—今後の活動を教えてください。

今年10月10日に計画している発表会が、今の目標ですね。全員で演奏する予定の演目『見上げてごらん夜の星を』『少年時

代』の練習を始めました。

また、老人ホームやデイサービスセンターへの慰問活動を、今後も続けていきます。オカリナを通じて地域のみなさんを元気にしたい、オカリナの音色に癒されて欲しい。今後ともオカリナ大好きな輪を広げていきたいです。



この人に聞きました！

松永 里香さん

ヴィバーチェオカリナ 代表

HP <http://ameblo.jp/cello02/>

活動に興味がある方は、お問い合わせください。



応援課だより

— 地域がつながる、盛り上がる活動を応援 —

応援課に相談だ！①イベントやるけど、集客できるかな？

夏から秋は団体の活動も活発になり、「イベントやろう」という機運も高まります。いいですね！でもやっぱり集客は心配です。当日来てくれるかな、どこからアピールする？お悩みの際は地域活動応援

課へ。どんな層の方々に、どんなメディアを使うと情報が届くのか。この夏、応援課は、広報やメディアづくりなど、地域活動を行う方々の集客応援キャンペーン中です。まずは相談ください。

応援課へのご相談や
お問い合わせはコチラまで

☎ 092-608-8480

✉ support@wajiro.info

相談員・スタッフが対応いたします。
日程調整から、お気軽にお電話ください。
応援課情報も載っているFacebook!
<https://www.facebook.com/komisenwajiro>
チェックよろしくお願いたします！